


防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年4月1日(水)	管理者	主任	担当者
施設名	みんとの家		川端	梅谷
実施担当者	梅谷 博文			
参加者	メンバー みんとの家			計0名
	スタッフ 梅谷・櫻井			計2名
	V○ 他			計0名
				合計2名

今回の目的	防災用品の確認 (16:00~16:15)
実施内容	別紙 防災食品 防災用品 防災リュック(職員持ち出し用)
評価	防災用品の備品については、今年度で大分そろえることができたように感じる。 足りないものや賞味期限切れの物は買い足していきたい。 個人の防災リュックについては次回確認する。
次回内容	防災訓練

防災用品、備蓄品の確認も入居者と一緒に実施するようお願いいたします。

防災責任者: 梅谷博文 

一緒に実施することで、入居者の防災意識の向上につながるのと、発災時、どのような食事をするのか、イメージもできると
思います。




防災用品リスト(みんと)

2015/4/1


品名	内容	内容	賞味期限
尾面ごはん(アルファ-米)	16個	260g 377Kcal	2020/03/
カレー(レトルト)	21個	(3個x7)	2015/8/9
乾パン	2缶	5食分x2	2016/12/
ドロップ	1缶		
氷砂糖	1袋	1KG	
水	6個		購入する
ランタン	1 個		
ミニランタン	1 個		
非常トイレ	5個		
職員非常用リック			
水	2本	500ml x 2	2017/4/25
乾パン	2個	100g x 2	2017/2/10
トイレトペーパー	1個		
ガムテープ	2個		
ビニールヒモ	1個		
ぽかぽかカイロ	2袋	(10個 x 2)	
軍手	2組		
ティシュー	2コ		
ウエットティシュー	2コ		
三角巾	1袋		
携帯ミニトイレ	1個	(3個 x 1)	
ガーゼ	1袋		
地図	1個		
ノート	1冊		
エマージェンシーシート	2袋		
ビニール袋	5個		
カイロ	4個		
バスタオル	1個		
フェイスタオル	1個		
ナイフ	1個		
ボールペン	1個		
ランタン	1個		
携帯充電器	1個		
ポカリスエット	1箱		購入する

防災訓練 実施 報告書


実施日	2015年7月1日(水)	管理者	主任	担当者
施設名	みんとの家		川端	梅谷
実施担当者	梅谷 博文			
参加者	メンバー	計 6 名		
	スタッフ 大崎	計 1 名		
	Vo. 他	計 0 名	合計 7 名	

今回の目的	地震を想定した避難訓練 ヘルメットの着脱訓練
実施内容	職員がリビングにて「地震だー」の大声を掛け、避難訓練を開始。 そのままテーブルの下に避難し、野村は夕食途中でしたので中断してテーブルの下に避難し揺れが収まった頃に、メンバーはそのまま、職員がヘルメットを取りに行き、ラジオで情報を収集し、安全であることを確認後、メンバーにテーブルから出るよう指示。ヘルメットを着用し、玄関から外に避難をした。 その後、点呼を取り全員無事で有ることを確認して中に戻り、ヘルメットの着脱訓練を行った。
評価	繰り返しの防災訓練によりメンバー全員、最後まで職員の指示に従い落ち着いて行動することが出来た。 テーブルの下に潜る行動は、今まで幾度となく行い慣れており、上手に行っていた。 今回は全員がリビングにいるという想定での訓練であったが今後はいろいろなシチュエーションを想定しての訓練もおこなって行きたい。 ヘルメットの着脱訓練についてはメンバー自身でしっかり着脱できるメンバーもいるが少しサポートをしないとうまく着脱できないメンバーもいるので繰り返し訓練を行いたい。
次回内容	転倒防止器具の点検、消火器点検

評価にある通り、様々なパターンを想定していくことが大事だと思う。経験のある職員が様々な場面設定をして導いてあげることが良いのではないのでしょうか。

防災責任者: 梅谷博文 

防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年9月25日(水)	管理者	主任	担当者
施設名	みんとの家		川端	梅谷
実施担当者	梅谷 博文			
参加者	メンバー			計0名
	スタッフ 梅谷			計1名
	V。他			計0名

今回の目的	防災用品の確認
実施内容	別紙 防災食品 防災用品 防災リュック(職員持ち出し用)
評価	防災用品の備品については、今年度で大分そろえることができたように感じる。 足りないものや賞味期限切れの物は買い足していきたい。 ただ 食品についてはもう少し買い足しが必要である。
次回内容	地域防災拠点への避難訓練

防災用品、備蓄品の確認も入居者と一緒に実施するようお願いいたします。

防災責任者:梅谷博文



また、食材は具体的にどんな物が必要なのか、何をどのように食べるのか、目安となる献立を作っておくと良いとのこと。




防災用品リスト(みんと)

2015/9/25

品名	内容	内容	賞味期限
尾面ごはん(アルファ-米)	16個	260g 377Kcal	2020/03/
乾パン	2缶	5食分x2	2016/12/
ドロップ	1缶		
氷砂糖	1袋	1KG	
飲料水 (2Lx6本) x 6箱	6箱	2017/7/	
牛丼(レトルト)	3個	2015/12/8	
カレー(レトルト)	3個	2016/1212	
中華丼(レトルト)	2個	2015/11/8	
餅(200g)x 2 袋	2袋	2016/12/31	
サンマ缶詰	5個	2017/11/1	
サバに着け	4個	2017/10/1	
ランタン	1 個		
ミニランタン	1 個		
非常トイレ	5個		
職員非常用リック			
水	2本	500ml x 2	2017/4/25
乾パン	2個	100g x 2	2017/2/10
トイレットペーパー	1個		
ガムテープ	2個		
ビニールヒモ	1個		
ぼかぼかカイロ	2袋	(10個 x 2)	
軍手	2組		
ティシュー	2コ		
ウエットティシュー	2コ		
三角巾	1袋		
携帯ミニトイレ	1個	(3個 x 1)	
ガーゼ	1袋		
地図	1個		
ノート	1冊		
エマージェンシーシート	2袋		
ビニール袋	5個		
カイロ	4個		
バスタオル	1個		
フェイスタオル	1個		
ナイフ	1個		
ボールペン	1個		
ランタン	1個		
携帯充電器	1個		
ポカリスエット	1箱	2016/6/30	


防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年10月3日(水)	管理者	主任	担当者
施設名	みんとの家		川端	梅谷
実施担当者	梅谷 博文			
参加者	メンバー	計6名		
	スタッフ 梅谷、松下	計2名		
	V。他	計0名	合計8名	


今回の目的	地震を想定した・地域防災拠点への避難(10時～)
実施内容	れもんの家との合同で、当GHのある矢部町の地域防災拠点である、鳥が丘小学校に防災リックを背負いいざという時にあわてない様に安全な避難経路をしっかりと確認しながら避難訓練をしました。本来、9月に予定していましたが、延期でこの日になりました。出発前と小学校への到着後に、震災により母屋が破壊されGHに戻れない場合は鳥が丘小学校に避難する事を伝えています。
評価	<p>徒歩10分程の鳥が丘小への避難も3回目なので、何人かのメンバーは場所を把握しており、そうでないメンバーは、職員がすぐそばについて誘導し、全く問題なく終わることが出来ました。また、みんとの家の新人職員は、あまり車椅子を押した経験がなかったようで、今回車椅子の入居者さんを担当し、勉強になったと思われます。</p> <p>経路に関しては、車の心配はありませんが、一か所、急勾配かつ鋭角に曲がる角があり、慎重に歩くよう伝えています。特に車椅子では注意が必要です。</p> <p>また 地域防災拠点の役割についても入居者並び職員全員が把握している事が重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して避難生活を送ることができる ・水、食料、生活用品を確保できる ・防災資機材を使って、救助・救出活動ができる ・家族の安否確認ができる
次回内容	GH合同避難訓練

新人職員に限らず、有事の際、二次災害を誘発しないためにも日ごろから入居者の皆さんと散歩等で外出する機会を作っておくことが大切だと思います。



防災責任者:梅谷博文 

防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年12月14日(水)	管理者	主任	担当者
施設名	みんとの家		川端	松下
実施担当者	松下文彦			
参加者	メンバー			計6名
	スタッフ 松下・梅谷			計2名
	V.o 他			計0名
				合計8名

今回の目的	時間 18:45~19:05 火災を想定した訓練(火元は台所) 消火器訓練、消火器点検
実施内容	【火災を想定した訓練、消火器訓練、消火器点検】 火元を台所と想定しての避難訓練を行った。 職員がリビングで「火事だー」と叫んで、避難訓練を開始。職員の誘導により、玄関から駐車場に置いてあるゴミ箱の傍まで避難した。通常車椅子の方は車椅子を使用せず、職員に抱えられながら移動した。訓練は全員問題なく取り組む事ができた。 その後、職員だけで消火器訓練を行う。①安全ピンを引き抜く②ホースを外し火元に向ける③レバーを強く握って放射する(放射なし)等の手順を確認しながら実施した。
評価	定期的に避難訓練に取り組んできた事もあり、職員の指示に従い落ち着いて行動する事が出来ていた。今回は全員がリビングにいるという想定での訓練であったが、今後は様々な事態を想定して訓練を行う必要があると思われる。
次回内容	防災用品確認


歩行に困難な方と行動障害の方が一緒に避難するのは大変なことで、繰り返しの声かけの練習が必要かとおもいます。

職員の適切な声かけで入居者の動きは大きく変わってしまうので繰り返しの練習をお願いいたします。

防災責任者:梅谷博文



防災訓練 実施 報告書

実施日	2016年1月7日(金)	管理者	主任	担当者
施設名	みんとの家		川端	松下
実施担当者	梅谷 博文			
参加者	メンバー			計0名
	スタッフ 梅谷、三浦、松下			計3名
	V。他			計0名

今回の目的	防災用品の確認
実施内容	別紙 防災食品 防災用品 防災リュック(職員持ち出し用)
評価	防災用品の備品については、今年度で大分そろえることができたように感じる。 足りないものや賞味期限切れの物は買い足していきたい。 ただ 食品についてはもう少し買い足しが必要である。
次回内容	法人全体防災訓練訓練

防災訓練について少し準備不足のようです。

防災責任者:梅谷博文



防災訓練は年間で決められ義務付けられている事業ですので、

準備をきちんと行い、余裕を持って入居者の皆さんと一緒に取り

組んで下さい。



防災用品リスト(みんと)

2016/1/7

品名	内容	内容	賞味期限
尾面ごはん(アルファ-米)	16個	260g 377Kcal	2020/03/
乾パン	2缶	5食分x2	2016/12/
ドロップ	1缶		
氷砂糖	1袋	1KG	
飲料水 (2Lx6本) x 6箱	6箱	2017/7/	
カレー(レトルト)	3個	2016/1212	
餅(200g)x 2 袋	2袋	2016/12/31	
サンマ缶詰	5個	2017/11/1	
サバ煮付け	4個	2017/10/1	
カロリーメイト	1個		
ランタン	1個		
ミニランタン	1個		
非常トイレ	5個		
職員非常用リック			
水	2本	500ml x 2	2017/4/25
乾パン	2個	100g x 2	2017/2/10
トイレットペーパー	1個		
ガムテープ	2個		
ビニールヒモ	1個		
ぼかぼかカイロ	2袋	(10個 x 2)	
軍手	2組		
ティシュー	2個		
ウエットティシュー	2個		
三角巾	1袋		
携帯ミニトイレ	1個	(3個 x 1)	
ガーゼ	1袋		
地図	1個		
ノート	1冊		
エマーゼンシーシート	2袋		
ビニール袋	5個		
バスタオル	1個		
フェイスタオル	1個		
ナイフ	1個		
ボールペン	1個		
ランタン	1個		
携帯充電器	1個		


防災訓練 実施 報告書

実施日	2016年2月17日(金)	管理者	主任	担当者
施設名	みんなの家		川端	松下
実施担当者	梅谷 博文			
参加者	メンバー			計 6 名
	スタッフ 梅谷、松下			計 2 名
	V。他			計 0 名
				合計 8 名


今回の目的	ライフライン切断を想定した訓練
実施内容	16時～18時、非常灯以外のホーム内の電気を全て消し、ガス・水道も使用しない環境の中で、メンバーには過ごして貰いました。途中、一部のメンバーには、魚を網に乗せて炭火で焼くのを手伝って貰いました。パックにお湯を入れて15分経ってから、メンバーにはランタンを点けた状態で非常食用の五目御飯を食べ、その後通常の夕食を摂って貰いました。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・魚を網に乗せて炭火で焼こうとしたところ、炭で湿っていて中々焼けず苦労した。有事を想定して簡易ガスコンロ購入する必要があると思いました。 ・非常食用の五目御飯は、メンバーは「美味しい」と言っていました。パサパサしていて、味はいまいちだった。パックに入れるのが湯だと15分で済むが、水だと60分もかかるので、非常食を食べる際は湯を沸かす必要があると思いました。 ・電気・ガス・水道全て使用しない環境で過ごして貰いましたが、特に普段と異なる言動は見られませんでした。
次回内容	<p>防災会議 2015年度まとめ</p> <p>防災計画 2016年度計画作成</p>

発災時は、十分な食事をとることができないという事もこの訓練を通して体験していけると良いのではないのでしょうか。



防災責任者: 梅谷博文 

防災訓練 実施 報告書

実 施 日	2016年3月26日(土)	管 理 者	主任	担 当 者
施 設 名	みんとの家		川 端	梅 谷
実施担当者	梅谷博文			
参 加 者	メンバー			計 0 名
	スタッフ 梅谷・櫻井			計 2 名
	V。他			計 0 名
			計 0 名	合計 2 名

今回の目的	防災会議 2015 年度まとめ 防災計画 2016 年度計画作成
実施内容	<p>2015 年度の防災訓練を振り返った。</p> <p>メンバーに関しては、防災訓練を行うごとに理解も深まり、よりスムーズに動けるようになっている。入居者の故意により火災報知器をならし消防車が来てしまったことが数回あり、誤作動などで火災受信機のベルやブザーの停止や復旧方法を学ぶ機会にもなった。</p> <p>しかし もっとも重要な実際の火災との判断の遅れも生じるので早急に設置場所など改善する必要がある。</p> <p>防災用品の備品については、今年度で大分そろえることが出来たが、カセットコンロ等、まだ足りないものがあるので、揃えていきたい。</p>
評 価	<p>来年度の防災訓練は 2015 年度の防災訓練の内容と大きくは変更せず、甲種防火管理責任者研修の受講、消防署に相談しての防災計画書作成に努めることとする。</p> <p>防災訓練を繰り返し行い、メンバーの理解が深まったが、その反面、緊張感が薄れてきていることは否めない。その辺をこれから考えて行っていきたい。</p>
次回内容	防災用品の確認

次年度防災訓練は計画性を持ち、備蓄品等の点検も入居者と
一緒に実施すること、防災訓練事態はより臨場感を出すなど、内
容の工夫をお願いいたします。

防災責任者:梅谷博文

